

産地情勢 (2021.6.29)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は 2020/21 年産とうもろこしの生産見通しを 106.4 百万トンから更に引き下げ、96.3 百万トンと発表した。

原因は中部の 90 年ぶりの干ばつと作付け遅れによるサリナ・コソンの減産である。(6 月 11 日)

クロープ カレンダー	作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コソ (夏作)	8-9 月	11-12 月	2-5 月	22%	主に国内 飼料需要 向
サリナ・コソ (冬作)	1-3 月上 旬	4 月	6-8 月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

ブラジル国家食糧供給公社は 2020/21 年産大豆の生産見通しを更に 0.4 百万トン引き上げ 135.15 百万トンと発表した。(4 月 9 日)

作付遅れと 2 月の多雨で大豆の収穫進捗率は 85% (平年 84%) (4 月 13 日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープ カレンダー	9 月-12 月初 め	1 月	1 月-4 月

アルゼンチン産とうもろこし

収穫は 23%進捗した。(平年 32%) 品質は優良が 44%と先週より 3%改善した (5 月 12 日)。

アルゼンチン穀物取引所は 2020/21 年産の生産量を変更せず 4550 万トンと発表。乾燥気候が長引くことと早霜の懸念が残っている。(4 月 7 日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は 2 段階に分かれる。	9-11 月始め	12-1 月	3-4 月
	12-1 月	3-4 月	6-7 月

アルゼンチン産大豆

収穫は 33%進捗した（平年 56%）。品質は優良が 9%。（5 月 5 日）

ブエノスアイレス穀物取引所は、2020/21 年産の生産量を 4300 万トンと発表し先月の予想より百万トン引き下げた。（4 月 14 日）

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクopp カレンダー	10 月-1 月中旬	2 月	3-6 月

米国産とうもろこし

今月は中西部で乾燥気候が多く、品質は優良が 64%と先週よりさらに 1%悪化した。（6 月 28 日）

米国産大豆

品質は優良が 60%と先週と変化なし。（6 月 28 日）

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Farm Progress Agprofessional より

米国農務省生産量予測（6 月 10 日）

とうもろこし

（百万トン）

	2019/20	2020/21	2021/22
米国	346.0	<u>360.3</u>	380.8
ブラジル	102.0	98.5	118.0
アルゼンチン	51.0	<u>47.0</u>	51.0

2020/21 年度末の米在庫率は輸出需要とエタノール需要が増加し、7.37%と更に下がった。2012/13 年度の 7.4%以来の低水準。

ブラジルの 2020/21 年度の実生産量は乾燥気候で先月より更に 3.5 百万トン下方修正。

大豆

（百万トン）

	2019/20	2020/21	2021/22
米国	96.7	<u>112.6</u>	<u>119.9</u>
ブラジル	128.5	<u>137.0</u>	<u>144.0</u>
アルゼンチン	48.8	<u>47.0</u>	<u>52.0</u>

2020/21 年度末の米在庫率は搾油需要を下げ、2.96%に 0.34%引き上げたが 2013/14 年度の 2.6%以来の低水準。

ブラジルの 2020/21 年度の実生産量は先月より百万トン引き上げ。